

南島原土地改良区（長崎県）

本土地改良区は2022年2月1日に16土地改良区が合併したほやほやの土地改良区です
そんな中、新たに女性理事2名が加わり活気にあふれています



左から 志岐理事長、太田理事、川田理事、酒井副理事長

組織の概要

面積：953.5ha
組合員：2,024人
理事：18人（うち女性員外2人）
監事：3人
職員：11人（うち女性7人）

通常の理事：16選任区から8～17人の地区事業運営
登用方法 委員より候補者を選出している。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年5月8日 定款変更(定数増、員外規定)
令和6年3月28日 総代会にて選任
4月1日 理事就任
(任期：令和8年3月31日)

おおたかよこ 太田香代子理事



- ・観光協会理事
- ・農業者年金女性の会会長
- ・長崎女性ネットワーク副会長
- ・観光地づくり協議会会長
- ・農業者年金基金運営評議委員

農業者にとって土地は職場であり人生です。
その土地に女性もしっかりと興味を持って向き合うべきだと思いますし、進んで関わりたいと思います。

農業は男性社会と思われがちですが、家事賄い等女性の力が一体となって運営されていくものと思います。もっと女性の意見を尊重しお互いが認め合うことで、女性理事登用に繋がるのではないのでしょうか。

太田さんが理事を引き受けるまで



事務局

女性農業委員として長年農業振興に尽力されていて、土地改良区の女性理事として最適任だと思いお願いしました。



太田理事

農業委員を4期12年務めた経験から、微力ながらお役に立てればと思い受けさせて頂きました。

しきよしはる

志岐好春 理事長より

男女共同参画がテレビ等で頻繁にささやかれるようになり、本土地改良区でも女性の活躍が農業へ変革を与えたいと思ひ、令和5年度から人選を進め6年度より女性理事2名を迎えることができました。

女性の目線でしっかりと意見を出していただき、より良い農業環境の整備に繋げていただきたいと思います。

かわたともし 川田とも子理事



- ・長崎県指導農業士副会長
- ・島原半島指導農業士会長
- ・グリーンライフアドバイザー

土地改良区の役割を理解し、女性の目から生じた意見など次世代にも希望の持てる農業環境に取り組んで行きたいです。

農業経営者としての資質向上（労力、所得向上、家族経営協定など）を目指し、楽しく地域を盛り上げていくことが女性理事登用に繋がると思います。

川田さんが理事を引き受けるまで



事務局

男女共同参画への熱い思いが感じられ、これから女性が農業に深く関わることを進めていける方だと思いお願いしました。



川田理事

女性の目線に立って後輩の育成をして行きたいと思ひ、先輩理事の強い誘いもあって受けさせていただきました。

事務局長より

6月4日(火)に6年度第2回の理事会があり、様々な議案に対し活発な意見がありました。

理事長や男性理事が男性としての意見を述べると、女性理事が女性の立場からの意見を述べられ、とても意義ある会議であったと感じています。

今までなかなか済ませていたことが新鮮に感じられ、今後の土地改良区の運営に変化が起こる第一歩と期待されます。

桃山田土地改良区（長崎県）

桃山田土地改良区は、令和6年4月、2人の女性理事が就任
～多様な意見を反映し、より一層の農業の効率化と安定した農業経営を目指して～



最前列左から 山中理事、町田理事長、荒木理事
(令和6年6月 第3回理事会)

組織の概要

面積：109.6ha
組合員：222人
理事：17人（女性員外2人）
監事：3人
職員：2人（うち女性1人）

通常の理事：2選挙区から5人の総代による推薦委員
登用方法 会により候補者を選出している。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和4年3月29日	理事会	資料で女性理事の必要性を説明
12月20日	理事会	女性理事は2名予定なので各地区で話題としてほしい
令和5年5月30日	理事会	人選を検討してほしい
9月26日	理事会	女性理事は2名とする
10月24日	理事会	選出は四役に一任する
令和6年1月30日	理事会	にて承認
3月18日	通常総代会	にて選任
4月1日	理事	就任 (任期：令和7年3月31日)

やまなかすみ 山中眞寿美 理事



経歴
高校卒業以降旧千々石町職員・雲仙市職員として勤務し令和4年3月退職。その後、ご主人と息子さんがされていた営農を本格的に始め、主に米、馬鈴薯、畜産（繁殖牛）を行っている。現在は、保護司、主任児童委員を務めている。

理事になって思うこと
知らないことを知ることができ、勉強になります。また工事施工中のため、進捗状況も分かるのも良いです。理事会では役員さんが活発に意見されていると感じました。理事会は固いイメージでしたが、知り合いの農家さんも多く溶け込みやすい雰囲気でした。

あらきゆきこ 荒木由紀子 理事



経歴
平成3年に嫁ぎ、営農に携わったのは3人の子を出産した後。ご主人が営農を本格的に始めた平成10年頃から一緒に携わった。ご主人と2人で馬鈴薯、玉ねぎ、米、路地野菜を耕作しており、現在は農協婦人部の役員を務めている。

理事になって思うこと
我が家の圃場は区画整理工事が完成していますが、理事会では他の圃場がどのような進捗率か知ることができて良かったです。近所の方も多く、農協婦人部もしているので知り合いばかりでよい雰囲気でした。

山中さんが理事を引き受けるまで



事務局

民生委員等、多くの役員をされていたので、お願いするのはどうかと思っていましたが、事業実施中を役員として経験できるのは今しかないと考え、お願いしました。



山中理事

女性理事2人でということが良かったです。1人だと心細かったです。当初は、できれば遠慮したいと夫とも話していましたが、理事長さん・事務局長さんが熱心に薦めてくださったので引き受けました。家族の理解もありました。

荒木さんが理事を引き受けるまで



事務局

土地改良区として女性理事2人を登用することは決めており、女性がやりやすいように、最初にお願した山中さんに、知り合いを紹介してもらうようお願いしました。



荒木理事

理事長さん・事務局長さんに熱心に誘っていただきました。どうして私の名前が挙がったのかなと思いつつも、任期1年ということでそれならば私にも出来るかなと思い、最後は家族の理解もあり、引き受けました。

まちだかずひさ 町田一久 理事長より

県土改連から薦められたのも一つの要因ですが、昔は父ちゃんが主体であった経営が、現在の農家は母ちゃんの見も経営方針に大きく取り入れられています。そういったことから、土地改良区も女性の意見・考え方を取り入れた運営、活動を行うとまた違った活性化に繋がると思いました。先々には改良区の中に女性部の組織を設け自由に活動をしてもらう事が理想です。

事務局長より

女性理事が参加されたことで、理事会等会合では柔らかな良い雰囲気が見事に生じています。最初から「女性理事は2名」で薦めたのが良かったです。私たちの選出方法が参考になれば幸いです。